



サシバエ捕獲装置

もう安心

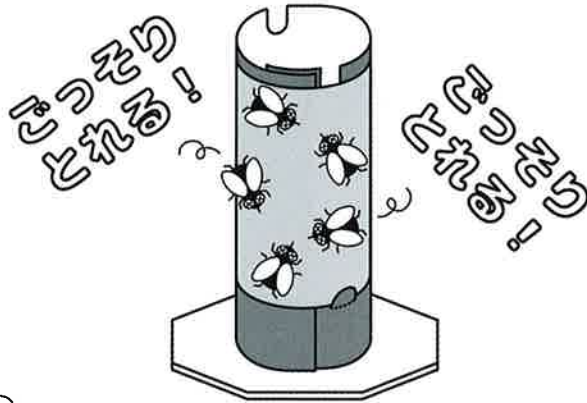


特許出願中!

意匠登録出願中!

究極のサシバエ対策!!

おもしろいほどごっそり獲れる!!



サシバエがごっそり獲れる!

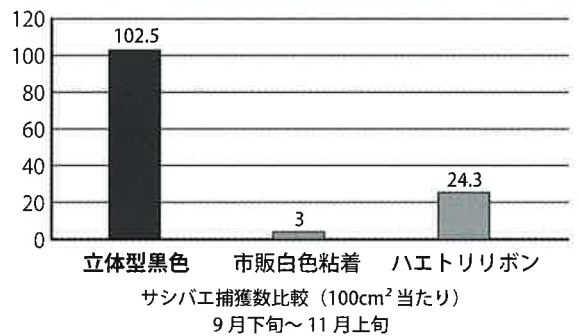
サシバエの習性を研究することで、イエバエよりもサシバエを選択的に捕獲できる装置を開発しました。

黒色でごっそり獲れる!

白色粘着シートとの比較試験では、黒色の方が圧倒的に多くサシバエを捕獲できました。サシバエとイエバエを合わせた全捕獲数に対する割合も、黒色ではサシバエ9割以上、白色ではサシバエ4割以下という結果が出ました。

立体型でごっそり獲れる!

装置形状の比較試験では、立体型の方が平面型に比べ多く捕獲できました。



単純明快

組み立て、持ち運び、廃棄などの取り扱いが簡単です。

低コスト

単位面積当たりのサシバエの捕獲量が抜群です。

安心安全

殺虫成分、誘引成分などの薬剤を使用していません。



鳥取県立農業大学校 澤 英夫 教授

*** 開発者である澤先生からコメントを頂きました ***

サシバエの成虫は、雌雄ともに血液を主食とするためイエバエとは異なり、残飯等(匂いを出すもの)に誘引されにくく、光吸収性の高い色や立体形状に特異的に誘引されることがわかりました。牛舎と堆肥舎、牛舎と草地を繋ぐ線上の設置が有効です。

*** 畜産農家の方々からの声 ***



比較的若い牛に集る傾向があり、近くに設置が効果的でした!



ハエの出現が多い場所で朝日に当たると短時間で大量捕獲しました!



透明粘着シートを本体に密着し黒色が際立つほど捕獲量が増大しました!

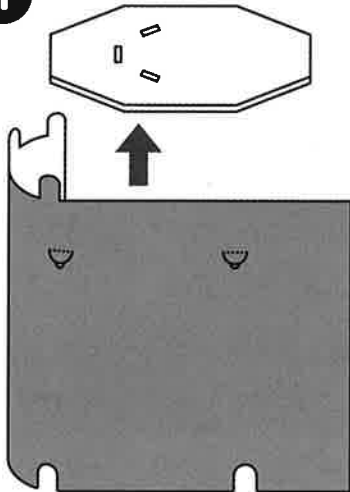
《共同開発者》

鳥取県農林水産部農業大学校、鳥取県中小家畜試験場、ヤマステデザイン(倉吉市)、(地独)鳥取県産業技術センター、(公財)鳥取県産業振興機構 及び 鳥取県内の多くの畜産企業・農家の皆様

品名	サシバ工捕獲装置 モウ安心	パッケージ 内容	《業務用100枚セット》 ・本体（底板・筒） ・粘着シート	各10枚 100枚
サイズ	本体： 【組立時】幅 300×奥行 300×高さ 363mm 粘着シート： 【組立時】直径 140×高さ 300mm 【粘着面】440×270mm		《トライアル10枚セット》 ・本体（底板・筒） ・粘着シート	各1枚 10枚
			※本体（底板・筒）のみの販売も行っております。	

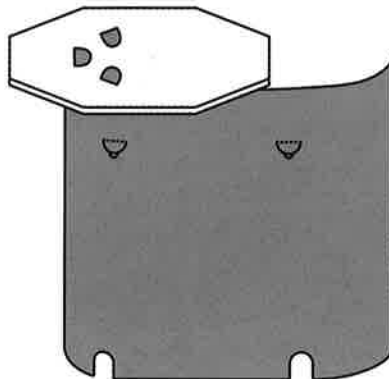
取扱説明書

1



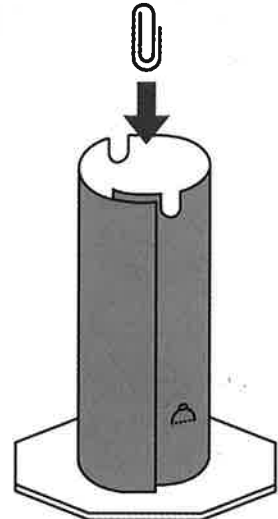
黒色が外側になるように厚紙のツメを底板の穴に差し込む。

2



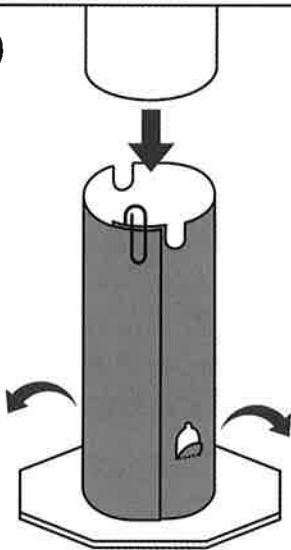
ツメの剥離紙をはがし、折り曲げて接着する。

3



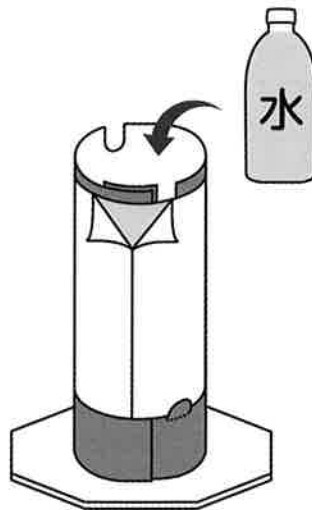
底板を下にして置く。厚紙の外端を内側に巻き込み付属のクリップで仮留めする。

4



ストッパー2個を外側に折り曲げ、上から粘着シートを被せる。仮留めクリップを外す。

5



水入りのペットボトルなどを転倒防止の重石として入れる。粘着シートの剥離紙をはがす。

設置のポイント

- 牛が触れない牛の近く
堆肥置場や草場に近い出入口周辺も効果的
- 高さは10～120cm
サシバ工は低い位置を飛び習性がある
- 送風機の風を避ける
粘着面にほこりが付着すると粘着力が低下
- 直射日光を避ける
粘着面の光の反射を抑えサシバ工を寄せ

粘着シートの交換

- 1～2週間を目安
サシバ工最盛期は早めの交換が効果的
- 隙間やシワなくセット
粘着面の光の反射を抑えサシバ工を寄せ

使用上のご注意

- 本製品を捕虫以外の用途には使用しないでください。
- 装置の設置や粘着シート交換時には粘着糊が身体や衣服に付着しないようご注意ください。
- 直射日光や高温多湿な場所を避けて保管してください。

製造元 **有限会社サンパック**

鳥取県倉吉市長坂町 722-1 TEL 0858-28-5461

取扱店